

経済金融動向 (2017年6月)

みずほ総合研究所 経済調査部

輸出・生産はともに回復基調

5月の輸出数量指数(みずほ総合研究所による季節調整値)は、前月比+0.4%(4月同▲0.2%)と3カ月ぶりのプラスとなった。米国やアジア向けが伸び悩んだ一方、EU向けが好調だった。先行きについては、海外経済が緩やかに回復する中、輸出は緩やかな回復基調が続くだろう。

5月の鉱工業生産指数は、前月比▲3.6%と前月から大幅に低下した。ただし、自動車の新型車効果などによる4月の増産が一服したことが主因であり、均してみれば緩やかな増産基調が続いている。6月が生産予測指数の補正值通り(+1.7%)だとすると、4~6月期は前期比+2.0%となり、1~3月期(同+0.2%)から増勢が強まる見込みだ。

業況判断は大きく改善

日銀短観(6月調査)は、大企業・製造業の業況判断DIが+17Pt(3月調査:+12Pt)、大企業・非製造業が+23Pt(同:+20Pt)と、前回調査からともに大きく改善した。製造業では、生産用機械や電気機械などの

加工業種から、石油・石炭製品や鉄鋼などの素材業種まで、全般的に改善した業種が多かった。非製造業では、通信業など一部の業種が悪化したものの、卸売業、小売業や対個人サービス業などが上昇し、全体では改善した。2017年度の設備投資計画(土地含みソフトウェア除く、全規模・全産業)は、3月調査から4.3%上方修正され、前年度比+2.9%となった。例年と比べても高い伸びを示しており、企業の設備投資意欲の強さを示す結果となった。人手不足に伴う省力化投資への需要の高まりが一因になっているようだ。

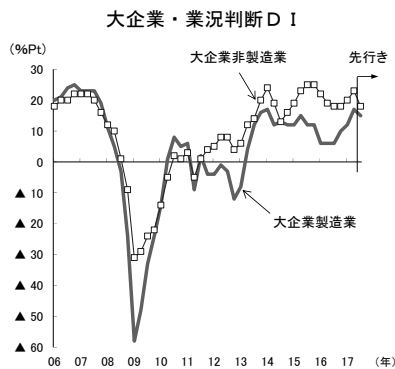
個人消費は緩やかに回復

5月の消費関連指標をみると、消費活動指数(旅行収支調整済)は、前月比▲0.5%(4月同+1.3%)と2カ月ぶりにマイナスとなった。しかし、4~5月平均を1~3月期対比で見れば+1.0%となり、増加傾向を維持している。また、5月の実質消費支出(二人以上の全世帯)は、前月比+0.7%(4月同+0.5%)と緩やかな増加が継続している。

先行きの個人消費は、雇用・賃金が改善していることから、底堅く推移する見込みである。



(注) 輸出数量指数は、みずほ総合研究所による季節調整値。
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、財務省「貿易統計」より、みずほ総合研究所作成



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より、みずほ総合研究所作成

	鉱工業生産	第3次産業	機械受注	失業率	消費活動指数	小売販売額	住宅着工戸数	貿易統計輸出額	貿易統計輸入額	企業物価(国内)	消費者物価(全国)
	前期比%	前期比%	前期比%	%	前期比%	前期比%	戸数	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%
2015年度	▲0.9	1.4	4.1	3.3	0.1	0.8	92.1	▲0.7	▲10.2	▲3.3	0.0
2016年度	1.1	0.4	0.5	3.0	0.4	▲0.2	97.4	▲3.5	▲10.2	▲2.3	▲0.2
2016/06	1.5	0.5	7.1	3.1	▲0.3	0.0	98.8	▲7.4	▲18.7	▲4.5	▲0.4
07	0.0	0.1	5.6	3.0	0.7	1.6	99.6	▲14.0	▲24.6	▲4.2	▲0.5
08	1.3	0.1	▲5.9	3.1	▲0.3	▲1.7	96.1	▲9.6	▲17.0	▲3.8	▲0.5
09	0.3	▲0.2	0.3	3.0	0.0	0.5	98.1	▲6.9	▲16.1	▲3.3	▲0.5
10	0.3	0.1	3.4	3.0	0.4	2.4	98.1	▲10.3	▲16.3	▲2.7	▲0.4
11	1.0	0.2	▲2.8	3.1	▲0.1	▲0.7	95.4	▲0.4	▲8.7	▲2.3	▲0.4
12	0.7	▲0.1	2.1	3.1	▲0.4	▲0.7	92.3	5.4	▲2.5	▲1.2	▲0.2
2017/01	▲2.1	▲0.1	▲3.2	3.0	0.8	0.2	100.1	1.3	8.4	0.5	0.1
02	3.2	▲0.1	1.5	2.8	0.5	0.3	94.0	11.3	1.3	1.1	0.2
03	▲1.9	▲0.3	1.4	2.8	▲0.4	0.2	98.4	12.0	15.9	1.4	0.2
04	4.0	1.4	▲3.1	2.8	1.3	1.4	100.4	7.5	15.2	2.1	0.3
05	▲3.6	▲0.1	▲3.6	3.1	▲0.5	▲1.5	99.8	14.9	17.8	2.1	0.4

注:1. 機械受注は船舶・電力除く民需。

2. 消費活動は実質ベース、旅行収支調整済。

3. 住宅着工は年率換算の季節調整値。

4. 消費者物価は生鮮食品除く総合。